

2021年7月

原水爆禁止 2021年世界大会開催について

西部分会吉田洸介

僕は今回初めて広島に行きますが、ただ行くのではなく、この県と長崎県は76年前に原爆が投下され多くの人が犠牲になり命を落とした方がいます。

6日に広島、9日に長崎ということであり、今年の1月に多数の国の政府の指示と世論の高まりの中で核兵器禁止条約が発効し、使用・威嚇・開発・実験・製造・貯蔵など全ての活動が違法と宣言され、その力に市民社会と諸国政府が「核兵器の無い世界」の道にするという新しい時代とされました。



今も世界には約1万3,400発もの核兵器が貯蔵・配備されており、核大国や一部の同盟国のリーダーが安全保障を必要と主張して、禁止条約への参加を拒否しています。

まだ感染が続くコロナウイルスの拡大・気候・格差と貧困の差別など数多くの問題が今、人類社会を襲い、これまでに核の傘の名で核兵器に依存してきたたくさんの国々で「核兵器による安全」から「核兵器のない世界」へという行動が起こり、日本でも全国の被爆者や閣僚経験者・学術・文化・芸能・宗教など広範な分野の人々の呼びかけで日本政府に対して条約の署名・批准を求める運動が急速に広がっています。こうして日本国民はずっと被爆や戦争等が無い国を目指して生きていると思います。